

平成 24 年 10 月 23 日

H24 年度前期 学部等全体評価（共通教育センター）

姜 奉植

授業名：全学共通科目 全体

先ずは、気になる値 6 点を下に記しておく。

問い 1 番「この授業にもともと強い関心がありましたか」に対する回答として「そう思わない」側への集計が 45.2%で、昨年度後期（41.2%）と比較して 4%増加している。

問い 4 番「この授業に真剣な態度で参加できましたか」の回答に「そう思わない」側への回答が 32.8%で、これも昨年度後期（32.2%）と比較して僅かながらも 0.6%微増している。

問い 5 番「この授業の予習・復習等に積極的に取り組みましたか」への回答に「そう思わない」側への回答は 43.7%で、これまた昨年度後期（40.6%）と比較して 3.1%も増加している。

一方、問い 11 番「あなたはこの授業の到達目標を達成できましたか」に対して「そう思う」側への回答は 69.2%で、昨年度後期（74.3%）と比較して 5.1%減している。

問い 12 番「この授業で得たものは多かったと思いますか」に対しても「そう思う」側への回答は 75.1%で、これも昨年度後期（79.5%）と比較して 4.4%減している。

問い 13 番「総合的に考えてこの授業に満足できましたか」に対して「そう思う」側への回答は 75%で、これまた昨年度後期（80.6%）と比較して 5.6%減している。

以上の 6 点は、後期と前期という科目群の違いがあり、一概に比較できるものではないが、6 点とも好ましくない方向に値が増加しているのは大変憂慮される場所である。

これらの原因として、昨年度後期にも同じ指摘をしていたのであるが、次の 2 点が考えられる。1 点は、「そもそも勉強したくない」勉強嫌いの学生が増えてきているのか、それとも、もう 1 点は、学生たちの関心を強く引く全学共通科目がさほど多くなかったかのいずれかであろうと考える。

筆者は、本学の共通科目の豊富さから見ると、原因は後者よりはむしろ前者によるもので、それが回答結果に影響したのではないかと憂慮をする。その一因として昨今の学生たちの学力低下が言われているが、その深刻さが上記の問いに如実に反映されている

のではないかと危惧するのである。

今後は、この問題点を全学的な観点からどう改善していくのかが大きな課題と考える。

一方、評価される点としては、問い 10 番「教員の熱意をどの程度感じましたか」に対する回答として「強く感じた」側への回答が 81.9%を占めており、この値は、本学教員の授業への取り組みはかなり評価されていると判断する。